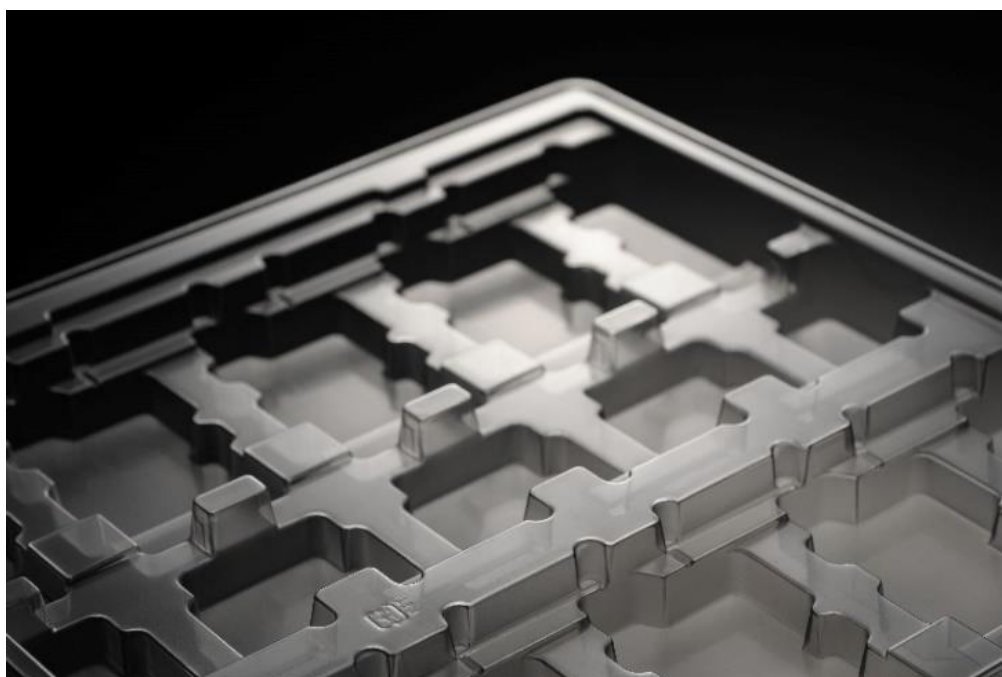


エコアクション21

2023年度環境経営レポート (2023年4月1日～2024年3月31日)



※環境省
エコアクション21
認証番号 003325

環境保全と改善に全社員で積極的に取り組めます。

双和プラスチック工業株式会社

発行日：2024年6月28日

■■■ **SOUWA PLASTICS VACUUM FORMING** ■■■

目 次

1. 環境経営方針	P1
2. 組織の概要	P2—P3
3. EA21実施体制図及び役割・責任・権限	P4
4. 環境経営目標管理表（中長期）	P5
5. 環境経営目標の実績とその評価	P6
6. 環境経営目標の実績（5年間）	P7
7. 2023年度環境経営計画	P8
8. 環境経営計画に基づき実施した取組内容の評価と次年度取組内容	P9
9. 環境経営目標の実績及び取組の評価内容	P10—P11
10. 緊急事態の想定結果及び対応策	P12
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反・訴訟の有無	P13
12. 代表者による全体評価と見直し結果	P14

1. 環境経営方針

【 企業理念 】

双和プラスチック工業株式会社は、地球の環境保全が現在はもちろん人類の将来にとって重要な課題と認識し、全社員はもちろん周囲の人々にも提案・理解を得て環境の保護・向上活動を確実に実行いたします。

【 基本方針 】

1. 私たちは、事業活動の中で地球環境への配慮を経営の重点課題として捉え、全社で環境経営と環境保全の継続的改善に取り組んでいきます。
2. 当社の事業に関わる環境保全活動として次のことを実施します。
 - 1)省エネルギーの実施によって二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
 - 2)有価物を含む廃棄物の適正管理及び削減に取り組めます。
 - 3)水使用量の削減に取り組めます。
 - 4)原材料等の資源の使用量を減らし、環境に配慮した活動に取り組めます。
 - 5)事務用品等新規購入に於いてグリーン購入を促進します。
 - 6)環境負荷の少ない製品・製作環境づくりを推進します。
3. 私たちは環境関連法規制・条例等、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 従業員に対して環境経営方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を積極的に行い活動結果を公表します。

制定：2006年12月16日

改訂：2021年 2月15日

双和プラスチック工業株式会社

代表取締役 松下 宙太郎

2. 組織の概要

2-1 会社の概要

1. 事業所名

双和プラスチック工業株式会社

2. 代表者名

代表取締役 松下宙太郎

3. 所在地

静岡県牧之原市波津1313-8
静岡県牧之原市波津1630-77 (倉庫)

4. 事業内容

真空成形を主としたプラスチック包装容器の設計及び製造・販売

5. 従業員数

11名

6. 環境管理責任者

代表取締役 松下 宙太郎

7. 連絡先

窓口担当者 小林 真由美
TEL : 0548-52-0334
FAX : 0548-52-4536
ホームページ <https://www.souwa-pl.co.jp>

8. 事業の規模

法人設立年月	1966年5月16日
資本金	1,000万円
売上高	95百万円
敷地面積	945.43 m ²
延べ床面積	788.45 m ²

9. 事業年度

令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (第57期)

3つの約束

1. 生産性を向上させた製品設計
2. ご要望に合わせた品質改善
3. 納期厳守の徹底



2-2 沿革

1963年	双和プラスチック加工所を設立
1966年	双和プラスチック工業株式会社に法人改組
1984年	本社工場増設
2008年	ISO9001(品質マネジメントシステム)認証取得
2009年	エコアクション21認証取得(認証・登録番号:0003325)
2013年	BCP事業継続計画構築
2014年	クリーンブース(クラス10000)設置
2018年	3Dスキャナ型 三次元測定機

3Dスキャナ型
三次元測定機



クリーンブース
(クラス10000)



2-3 主要設備

全自動高速連続真空成型機	2台
単発式真空成型機	3台
トリミングプレス機	5台
スライドブリスター	2台



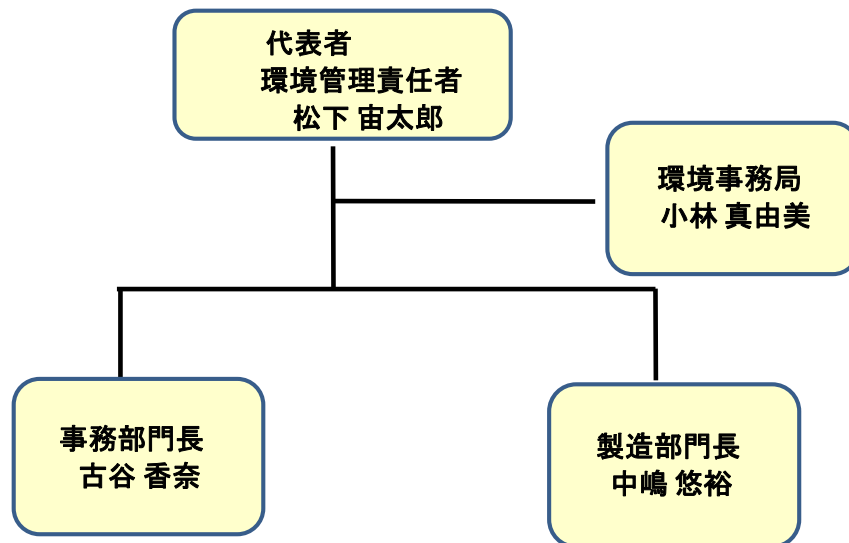
全自動高速連続
真空成型機

2-4 対象範囲

対象組織	双和プラスチック工業株式会社 本社・工場、倉庫
対象活動	プラスチック真空成形

3. EA21実施体制図及び役割・責任・権限

実施体制図



	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術、技術者を準備 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境活動の取組結果を代表者に報告 ・ 環境負荷の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標・環境経営計画書案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成
部門長	・ 環境経営方針の周知 ・ 教育訓練の実施 ・ 環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 緊急事態への対応のための手順書作成、試行、訓練を実施、記録の作成 ・ 問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標管理表(中長期)

承認 (管理責任者)	作成 (作成者)
松下	小林

環境目標は以下のとおりです。

- ◆ 環境負荷項目のうち数値削減を目標とするものについては、2021年の実績を基準値とする。
- ◆ 目標値は基準値より0.1%ずつ削減する。
- ◆ 原単位評価基準は売上高(万円単位)当たりの負荷量。
- ◆ 廃棄物排出量の原単位評価の単位を「t」から「kg」で換算しました。
- ◆ 電力事業者別排出係数 中部電力0.486kg-co2 アーバンエナジー0.436kg-co2とする。
- ◆ 軽油によるCO2排出量は2022年2月より発生。2021年度(基準値)の数値の計算方法は以下の通りとする。
 2/21~3/20使用量ガソリン 179.84ℓ→68% 9,649.99kg-co2 × 68%=6,561.99kg-co2
 2/21~3/20使用量軽油 84ℓ→32% 9,649.99kg-co2 × 32%=3,088kg-co2
- ◆ 数値化できない項目
 (水使用量) 上水は使用量が少量である。成形機の冷却水は地下水を使用しているが
 地下水には水量メーターが無い為目標数値が定められない。
 (5S活動の推進) 毎週月曜日の朝礼にて指示

品質目標	取組項目	2021年度 (基準値)	2022年度 (目標)	2023年度 (目標)	2024年度 (目標)
◆二酸化炭素排出量	購入電力によるCO2排出量	98,129.79kg-co2	98,031.66kg-co2 (-0.1%)	97,933.53kg-co2 (-0.2%)	97,835.40kg-co2 (-0.3%)
	原単位評価	6.769	6.763	6.755	6.749
基準値:2021年(98,129.79kg-co2) 2024年度:基準値比=(-0.3%) (97,835.40kg-co2)	購入電力によるCO2排出量	88,434.88kg-co2	88,346.53kg-co2	88,258.08kg-co2	88,169.62kg-co2
	原単位評価	6.100	6.095	6.089	6.083
	購入電力消費量	197,891kwh	197,693kwh	197,495kwh	197,297kwh
	ガソリンによるCO2排出量	6,561.99kg-co2	6,555.41kg-co2	6,548.83kg-co2	6,542.26kg-co2
	原単位評価	0.453	0.452	0.451	0.451
	ガソリン消費量	2,828.44ℓ	2,825.61ℓ	2,822.77ℓ	2,819.94ℓ
	軽油によるCO2排出量	3,088kg-co2	3,084.90kg-co2	3,081.80kg-co2	3,078.70kg-co2
	原単位評価	0.213	0.213	0.212	0.212
	軽油消費量	1,196.90ℓ	1,195.70ℓ	1,194.49ℓ	1,193.29ℓ
	灯油によるCO2排出量	44.82kg-co2	44.82kg-co2	44.82kg-co2	44.82kg-co2
	原単位評価	0.003	0.003	0.003	0.003
	灯油消費量	18ℓ	18ℓ	18ℓ	18ℓ
	灯油消費量	18ℓ	18ℓ	18ℓ	18ℓ
◆廃棄物排出量		47,054kg	47,007kg (-0.1%)	46,960kg (-0.2%)	46,913kg (-0.3%)
	原単位単価	3.245	3.242	3.239	3.236
基準値:2021年(47,054kg) 2024年度:基準値比=(-0.3%) (46,913 kg)	一般廃棄物	3,174kg	3,171kg	3,168kg	3,164kg
	原単位単価	0.219	0.218	0.218	0.218
	産業廃棄物	5,490kg	5,484kg	5,479kg	5,474kg
	原単位単価	0.378	0.378	0.378	0.378
	有価物	38,390kg	38,352kg	38,313kg	38,275kg
	原単位単価	2.648	2.646	2.643	2.640
◆歩留まり率の向上		99.43%	98%以上	98%以上	98%以上
◆会社の方針	5S活動の推進 整理・整頓・清掃・清潔・躰 				

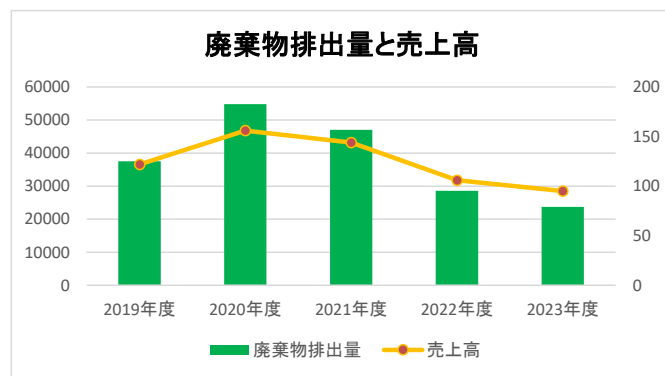
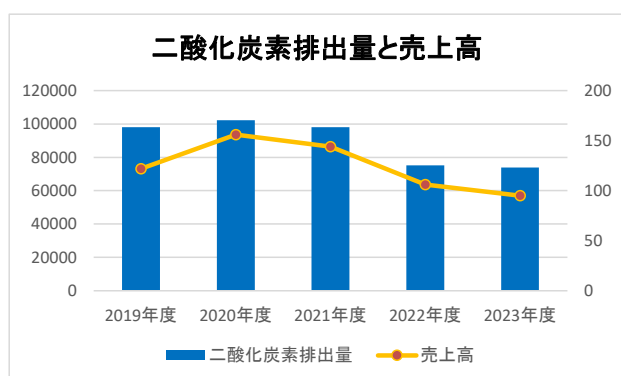
5. 環境経営目標の実績とその評価

環境経営目標	取組項目	2021年度 (基準値)	2023年度 (目標)	2023年度 (実績)	評価
	原単位評価基準	14,496	14,496	9,504	—
◆二酸化炭素排出量の削減		98,129.79kg-co2 (100%)	97,933.53kg-co2 (-0.2%)	73,926.06kg-co2 (-24.6%)	○
	原単位評価	6.769	6.755	7.778	×
基準年度:2021年度=98,129.79kg-co ² 2023年度:2021年度比=-0.2% 97,933.53kg-co ² ☆排出係数 中部電力 0.486kg-co ² ☆排出係数 アーバンエナジー 0.436kg-co ²	購入電力によるCO2排出量	88,434.98kg-co2	88,258.08kg-co2	65,698.94kg-co2	○
	購入電力消費量	197,891kwh	197,495kwh	135,183kwh	○
	原単位評価	6.100	6.089	6.913	×
	ガソリンによるCO2排出量	6,561.99kg-co2	6,548.83kg-co2	5,689.27kg-co2	○
	ガソリン消費量	2,828.44ℓ	2,822.77ℓ	2,452.27ℓ	○
	原単位評価	0.453	0.451	0.599	×
	軽油によるCO2排出量	3,088kg-co2	3,081.80kg-co2	2,448.21kg-co2	○
	軽油消費量	1,196.90ℓ	1,194.49ℓ	948.92ℓ	○
	原単位評価	0.213	0.212	0.257	×
	灯油によるCO2排出量	44.82kg-co2	44.82kg-co2	89.64kg-co2	×
	灯油消費量	18ℓ	18ℓ	36ℓ	×
◆廃棄物排出量の削減		47,054kg (100%)	46,960kg (-0.2%)	23,708kg (-49.8%)	○
	原単位評価	3.245	3.239	2.495	○
基準年度:2021年度=47,054kg 2023年度:2021年度比=-0.2% 46,960kg	一般廃棄物	3,174kg	3,168kg	1,688kg	○
	原単位評価	0.219	0.218	0.178	○
	産業廃棄物	5,490kg	5,479kg	7,180kg	×
	原単位評価	0.378	0.378	0.755	×
	有価物	38,390kg	38,313kg	14,840kg	○
	原単位評価	2.648	2.643	1.562	○
◆歩留まり率の向上		99.43%	98%以上	99.66%	○
◆会社の方針	5S活動の推進 整理・整頓・清掃・清潔・躰				○

* 評価方法 数値目標値達成済(数値目標及び活動計画達成)→○ 数値目標値未達成→×

6. 環境経営目標の実績(5年間)

環境経営目標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
◆二酸化炭素排出量	97,999.95kg-co2	102,225.74kg-co2	98,129.79kg-co2	75,121.95kg-co2	73,926.06kg-co2
購入電力によるCO2排出量	86,555.14kg-co2	92,917.85kg-co2	88,434.98kg-co2	67,069.96kg-co2	65,698.94kg-co2
購入電力消費量	178,097kwh	191,189kwh	197,891kwh	153,610kwh	135,183kwh
ガソリンによるCO2排出量	11,399.99kg-co2	9,307.89kg-co2	9,229.42kg-co2	5,361.87kg-co2	5,689.27kg-co2
ガソリン消費量	4,913.79ℓ	4,012.02ℓ	3,978.20ℓ	2,311.15ℓ	2,452.27ℓ
灯油によるCO2排出量	44.82kg-co2	0kg-co2	44.82kg-co2	44.82kg-co2	89.64kg-co2
灯油消費量	18.00ℓ	0ℓ	18.00ℓ	18.00ℓ	36.00ℓ
◆廃棄物排出量	37,547k	54,809k	47,054k	28,585k	23,708k
一般廃棄物排出量	437k	529k	3,174k	2,165k	1,688k
産業廃棄物排出量	8,650k	7,710k	5,490k	5,470k	7,180k
産業廃棄物(有価物)	28,460k	46,570k	38,390k	20,950k	14,840k
◆歩留まり率の向上	99.58%	99.45%	99.43%	99.66%	99.66%
生産高(t)	64.43	85.01	83.37	52.91	29.77
売上高(百万円)	122	156	144	106	95
従業員数(人)	16	16	15	12	11
床面積(㎡)	788.45	788.45	788.45	788.45	788.45
敷地面積(㎡)	945.43	945.43	945.43	945.43	945.43



7. 2023年度環境経営計画

環境経営目標を達成するために、以下の取り組み内容を実施します。

取組内容			取組部門	責任者
◆二酸化炭素排出量の削減	電力削減	エアコン温度冷房28±1℃暖房20±1℃	全社	小林
		フィルター清掃定期的に行う	全社	小林
		不要な照明の電源OFF及び消し忘れをしない	全社	小林
		成形機待機時間の短縮	製造部門	中嶋
	自動車燃料の削減	停車時のアイドリングの削減	製造部門	木村
		計画的な運転ルート	製造部門	木村
		納品数により自社便の軽減	事務部門	古谷
		車両の定期的点検	環境管理責任者	松下宙
◆廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	印刷ミスの防止(サイズ・枚数・印刷表示確認)	事務部門	小林
		社内連絡や書類等メールや電子化にて保存する	事務部門	小林
	リサイクル推進	ダンボール・カタログなど紙類のリサイクル徹底	事務部門	小林
		鉄類・プラスチック等のリサイクル徹底	製造部門	中嶋
		運送時、木製パレットを運送会社に返却	製造部門	中嶋
		廃油をスタンドに回収してもらいエネルギーとして再利用	製造部門	中嶋
◆水使用量の削減		水漏れ点検を毎日実施	全社	小林
		節水表示	全社	小林
◆グリーン購入の奨励		エコ指定商品の購入	事務部門	小林
		芯なしトイレトーパーを使用	事務部門	小林
		古着・古布を回収しウエスに	全社	小林
		エコキャップ回収(牧之原市商工会へ)	全社	小林
◆歩留まり率の向上		朝礼で歩留まり率発表	環境管理責任者	松下宙
		ISO9001との連携で確実な管理を実施する	環境管理責任者	松下宙
		材料の適正なサイズでの購入	事務部門	古谷
◆地域・社会の貢献活動		排水溝掃除	全社	小林
		社員による会社周辺の草取り・空き缶回収作業	全社	小林
◆環境に配慮した商品の情報提供		地球に優しい資材の模索	全社	松下宙
		環境負荷削減の製品紹介		
		展示会での普及に力を入れる		

8.環境経営計画に基づき実施した取組内容の評価と次年度取組内容

取組内容			取組結果の評価	実施者	次年度取組内容
◆二酸化炭素排出量の削減	電力削減	エアコン温度冷房28±1℃暖房20±1℃	○	全社	継続実施
		フィルター清掃定期的に行う	○	全社	継続実施
		不要な照明の電源OFF及び消し忘れをしない	○	全社	継続実施
		成形機待機時間の短縮	○	製造部門	継続実施
	自動車燃料の削減	停車時のアイドリングの削減	○	製造部門	継続実施
		計画的な運転ルート	○	製造部門	継続実施
		納品数により自社の軽減	○	事務部門	継続実施
		車両の定期的点検	○	環境管理責任者	継続実施
◆廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	印刷ミスの防止(サイズ・枚数・印刷表示確認)	○	事務部門	継続実施
		社内連絡や書類等メールや電子化にて保存する	○	事務部門	継続実施
	リサイクル推進	ダンボール・カタログなど紙類のリサイクル徹底	○	事務部門	継続実施
		鉄類・プラスチック等のリサイクル徹底	○	製造部門	継続実施
		運送時、木製パレットを運送会社に返却	○	製造部門	継続実施
		廃油をスタンドに回収してもらいエネルギーとして再利用	○	製造部門	継続実施
◆水使用量の削減	水漏れ点検を毎日実施		○	全社	継続実施
	節水表示		○	全社	継続実施
◆グリーン購入の奨励	エコ指定商品の購入		○	事務部門	継続実施
	芯なしトイレトーパーを使用		○	事務部門	継続実施
	古着・古布を回収しウエスに		○	全社	継続実施
	エコキャップ回収(牧之原市商工会へ)		○	全社	継続実施
◆歩留まり率の向上	朝礼で歩留まり率発表		○	環境管理責任者	継続実施
	ISO9001との連携で確実な管理を実施する		○	環境管理責任者	継続実施
	材料の適正なサイズでの購入		○	事務部門	継続実施
◆地域・社会の貢献活動	排水溝掃除		○	全社	継続実施
	社員による会社周辺の草取り・空き缶回収作業		○	全社	継続実施
◆環境に配慮した商品の情報提供	地球に優しい資材の模索		○	全社	材料メーカーへ情報収集
	環境負荷削減の製品紹介		○	全社	材料メーカーへ情報収集
	展示会での普及に力を入れる		○	全社	継続実施

* 評価方法 数値目標値達成済(数値目標及び活動計画達成)→○ 検討中→△ 数値目標値未達成・

9. 環境経営目標の実績及び取組の評価内容

二酸化炭素排出量

【今年度の評価】

* 二酸化炭素排出量は2021年度(基準値)に比べて△24.6%となっていますが
原単位評価では、すべてに於いて未達成となっている。

原因としては、稼働率が減っている為である。

生産の中心が自動車関連の為他の分野への販路拡大が必要である。

今年度の具体的な取組

■ 古いエアコンを省エネタイプに買い替えをした。

■ エアコンの室外機の天板の熱上昇を抑えるための設備を行った。

【次年度の取組】

* 目標値を2023年度(基準値)と比較して1.0%削減する。

達成する為の具体的な取組として

☆ 購入電力の数値は夏にかけて増えているので夏の暑さ対策として
工場内にサーキュレーターや大きな扇風機を設置し熱分散する。

廃棄物排出量

【今年度の評価】

* 廃棄物排出量は、2021年度(基準値)に比べて△49.6%であり
原単位評価も目標達成となりました。

評価では産業廃棄物が増加し有価物が減少している。

有価物に出来ないEVAやPVCの生産が増えた為である。



【次年度の取組】

* 目標値を2023年度(基準値)と比較して1.0%削減する。

達成する為の具体的な取組

☆ 適切な分別でリサイクルを行う。

☆ 循環・再利用出来る材料を使用する。

9. 環境経営目標の実績及び取組の評価内容

歩留まり率の向上

* 年間を通して歩留まり率98%以上の目標を達成する事が出来ました。

会社の方針

* 5Sチェックリストを作成し、毎日・毎週・毎月の作業実施項目を
明確化したことにより工場内は常に整理・整頓され清潔な状態です。

その他環境配慮地域貢献

* 工場及び駐車場の周辺は常に整備し排水溝掃除・ゴミ拾い・雑草除去
を行っています。

全体的な評価

* 本年度は、生産の中心が自動車関連の為、稼働率が落ちている。
二酸化炭素排出量は削減されているが、売上高による原単位評価では未達成である。
稼働率を上げていく為にも新しい分野への販路拡大が必要である。



◆サトウキビ等の植物に於いて、再生可能な非可食部分を原料に配合することにより
資源枯渇の防止やカーボンセットによるCo2削減に貢献する資材を材料メーカーから
情報収集しサンプル製品を成形して展示会等で環境に配慮した商品の情報提供を
行っていく。



植物由来の原料を配合したシートを使用



展示会等に出展しPR活動を行い新たな分野として拡大して行く。

10. 緊急事態の想定結果及び対応策

作成：2024年2月27日

作成者：環境管理責任者

当社は、社内を巡回し検討した結果、次項を緊急事態の想定とする。

想定結果	南海トラフ地震 第4次被害を想定にて実施 (震度6強～ 津波12m～ 津波到達予想 地震発生より4分50秒～)
対応策	①緊急危機責任者を管理責任者として定める。 ②大きな地震が発生した場合構内放送にて工場に連絡。 ③工場責任者は直ちに設備・機器の停止を大声で指示。 ④設備・機器の停止を分担し担当者は責任もって停止させる。 ⑤機器を停止したら、ヘルメットを被り、身の安全を守る。 ⑥津波警報発令 事務所より構内放送で高台に避難を促す。 ⑦非常用袋(リュック)を持ち避難する。 ⑧現場の誘導や安全確認は 中嶋が担当。 事務所来客の誘導 安全確保は社長が担当。 怪我人が出た場合は、応急処置を施し 医療機関に連絡する。 ⑨緊急避難場所(小堤山公園)及び(避難タワー)へ避難 ⑩社長か中嶋が安否確認 不明者がいればTELorMailにて中嶋が安否確認をする ⑪業務停止判断 被害状況や情報収集結果より、社長か中嶋が業務停止判断する ⑫避難訓練改善報告書に記入・非常用袋の点検 訓練では、津波警報等による避難訓練・勧告が解除された想定とする
予防策	①定期的に訓練を行う。 ②地震対策について、適宜、朝礼を利用して従業員への注意を怠らない。 ③怪我人に応急処置が出来るよう指導を行う。
定期的訓練日	毎年、防災訓練日である12月1日頃に実施。
訓練結果	訓練日：2024年2月27日に9名参加により実施した。 上記対応策が効果的かどうかをテストしました。 津波到達予想時間は4分50秒～5分30秒。揺れがおさまってから行動する事を考え避難完了目標時間を3分30秒としている。 今回は、小堤山公園及び避難タワーに避難。 どのルートが良いのか各々が体験し全員の意見を基に最適なルートを検討する。 訓練後ミーティングをし避難訓練改善報告書に気付いた事を記入してもらった。 小堤山公園へのルートは時間がかかる為避難タワーへの避難が最適であると判断した。 従業員に避難場所を周知しました。
訓練状況の写真	
	

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟の有無

1.環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日：2024年4月9日

評価者：環境管理責任者

法律・条例	条項	事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守状況
騒音規制法	第5条	騒音規制基準の遵守		○
	第6条	騒音特定施設設置の届出		○
振動規制法	第5条	振動規制基準の遵守		○
	第6条	振動特定施設設置の届出		○
浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○
	第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	年1回実施(静岡県生活科学検査センター)	2023年7月31日実施
廃棄物処理法	第6条の2第6項	一般廃棄物収集運搬業者へ委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
	第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○
	第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約 契約書の締結	○
	第12条の3第1項	マニフェストの交付		○
	第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○
	第12条の3第6項	マニフェスト写しの保管	B2、D、E票の5年間保管	○
	第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	令和5年4月5日提出	○
	第12条の3第8項	管理表写しの送付がない時の適切な処置の実施	運搬又は処分業者からのD,E票の期間内返却	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第8条	産業廃棄物管理責任者の設置		○
	第10条	委託先の実地確認と記録の保存		○
静岡県生活環境等の保全に関する条例	第52条	騒音基準の遵守義務		○
	第79条	振動基準の遵守義務		○
フロン排出抑制法	第16条	簡易点検又は定期点検の実施		○
	第41条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務		○
家電リサイクル法	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払い		○
牧之原市環境基本条例	第6条	事業活動に伴って生じる公害を防止し自然環境を適正に保全する為に必要な措置を講じる		○
	第6条2項	再生資源や環境への負荷の少ない原材料の利用に努め廃棄物となった場合適正な処理をする		○
	第6条3項	市が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する		○

1.違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

12. 代表者による全体評価と見直し結果

代表者による全体の評価と見直しを行った結果は、次の通りである。

見直し実施日	2024年6月21日	見直し者	松下 宙太郎
収集した情報	環境経営システムの構築状況		
	構築以外のシステム運用状況		
	目標達成状況及び、環境経営計画実施状況		
	その他環境管理事務局の意見・報告		
評価内容	環境経営システムが有効かつ機能的に運用されているか		
	環境への取り組みが確実かつ適正に実施されているか		
代表者の評価	2023年は、引き続き新型コロナウイルス等の影響もあり、生産設備の稼働率が		
	低下する時期もあった為、全体的なCO2の排出量としては減少がみられます。		
	その他、歩留まり等に関しては、良好な状態を維持できていると評価します。		
システム等の変更の必要性の判断	環境経営方針	要	☒ 不要
	環境経営目標	要	☒ 不要
	その他	要	☒ 不要
将来の展望と今後の計画	産業分野においても、環境問題への取り組みが社会的に、より求められる世の中へと変化しつつあります。		
	弊社としては、新たに環境配慮型素材(バイオマス系、リサイクル系)の材料を使用した		
	シートの用途開発も進めており、展示会等を通じて具体的な動きにつなげていく計画です。		
環境事務局への必要な指示	環境経営方針等は問題無く、引き続き継続して運用していくものと考えます。		
	今後も、新たな技術等を積極的に取り入れて、創意工夫をこらしながら環境への取り組みを継続してください。		